

2015年10月28日

issue+design 札幌市ソーシャルデザイナー養成事業【基礎編】

札幌市の課題をデザインの力で解決する手法を学び・実践する 「ソーシャルデザイナー」養成ワークショップを開催

「社会の課題に、市民の創造力を」をテーマに、
社会課題をデザインの持つ美と共感の力で解決する
issue+designは、地域課題をデザインで解決できる
人材「ソーシャルデザイナー」を育成する2日間の
ワークショップを、2015年12月5、6日に開催します。



■概要

本ワークショップは「デザイン思考」「地域課題解決」にフォーカスし、「ブレインストーミング」「アイデア発想」「プロトタイピング」を実践するワークショップです。issue+designの地域の活性化支援のノウハウをもとに、地域課題解決のために必要な企画を立案、実践できる市民を育成します。

■取り上げられるテーマ

「非婚・晩婚化」

札幌市の合計特殊出生率は1.08で全国的にも最低水準。出生率低下の大きな原因は婚姻率の低下です。恋愛に奥手な若者、結婚観の変化、お見合いシステムの崩壊、経済的不安など様々な理由があるなかで何ができるでしょうか。

「生活習慣病」

医療費の増加が大きな社会課題であり、生活習慣病が日本人の死因の3分の2を占めるなか、札幌市民の健康診断受診率は全国的にも低い傾向にあります。生活習慣病を予防し、健康寿命を延ばすために何ができるでしょうか。

「冬の外遊び」

2026年冬季オリンピック誘致を目指している札幌市ですが、ウィンタースポーツ人口は減少し、子どもが雪合戦をする姿も少なくなりました。長い冬の間、子どもが外で遊び・たくましく成長するために何ができるでしょうか。

<日程・内容>

12月5日（土）10:00～19:00 「課題の発見とデザイン発想」
12月6日（日）9:00～16:00 「プロトタイピングとプレゼンテーション」

<場所> 市民活動プラザ星園（札幌市駐大生区南8条西2丁目5-74）

<参加費> 無料（会場までの交通費は自己負担）

<募集人数> 30名程度（応募多数の場合、選考）

<講師> 篠 裕介（かけいゆうすけ）

ソーシャルデザインプロジェクト「issue+design」代表。東京大学大学院工学系研究科修了。全国で社会課題解決のためのデザイン領域の研究を実践。グッドデザイン賞をはじめ、国内外の受賞多数。

<応募期間> 10月26日（月）～11月13日（金）

<申し込み> <http://issueplusdesign.jp/news/2015/sapporo>

■お問い合わせ

issue+design「札幌市ソーシャルデザイナー養成講座」運営事務局 担当：篠、岡本、稻垣
TEL:03-6441-7752 E-Mail:info@issueplusdesign.jp HP : <http://issueplusdesign.jp>